

町政施政方針

未来へと幸せが続く 持続可能なまちづくりに挑戦

「危機」と
たたかう皆さまへ

新型コロナウイルスの感染拡大は私たちの生活を一変させ、それにと
もなう経済の落ち込みが、我が国を
はじめ世界に広がっています。

町では、昨年の年明けから猛威を
振るい、町内の観光業、商工業、建
設業、農林業など様々な分野におい
て大変厳しい状況になりました。特
に、介護施設でクラスターが発生し
たことから、医療関係者、介護関係
者に大きな負担がかかりました。
感染された方には、心よりお見舞

い申し上げるとともに、医師や看護
師、病院スタッフの皆様をはじめ介
護施設の職員、救急搬送を担う消防
署員の皆様、そして、感染症対策に
携わる保健所の方々など、命と健康
を守るために、昼夜を問わず最前線
で懸命にご対応いただいている関係
者の皆様に、深く敬意と感謝の意を
表します。また、感染拡大の防止に
向けて、様々なご協力をいただいで
いる町民の皆様、事業者の皆様にか
ら感謝を申し上げます。
新型コロナウイルスの感染拡大を
防ぎ、町民の皆様の命と健康、生活
を守るため全力を尽くしてまいりま
す。

南会津町長
大宅 宗吉



令和4年度 予算編成にあたって

長期化している新型コロナウイルス
感染症の感染防止対策を徹底する
ことはもちろん、感染症を契機とし
た「新たな常識と生活様式の変化」
を的確に捉えながら、町民の安全で
安心な生活の維持と停滞している町
内経済の景気回復、さらには、最終
年度となる「第2次南会津町総合振
興計画」に掲げるまちの将来像、「互
いを思いやり、人と自然が優しさに
包まれた、安心と信頼のまち」の実
現に向けた総仕上げの予算となるよ

う、「未来へと幸せが続く、持続可
能なまちづくり」を予算編成基本方
針とし、次の6つの重点施策を掲げ、
全職員一丸となって予算編成に取り
組んでまいりました。

重点施策1

町内の景気回復と新しい中心
市街地の実現に向けた取組み

重点施策2

町民の生活・生命を守る防災
対策と地域間公共交通網の整
備

重点施策4

社会環境の変化に対応したデ
ジタル化の推進と公共施設の
将来像を描く取組み

重点施策5

コロナ禍における集客事業の
見直しと関係人口・定住人口
を生み出す取組み

重点施策3

社会資本整備の着実な推進と
新設した公共施設を活用した
地場産業力の向上

重点施策6

経常経費の見直しと将来を見
据えた行財政改革に向けた取
組み

本予算につきましては、必要な投
資と財政規律の両立を保ちながら執
行したいと考えておりますが、新型
コロナウイルス感染症に対応する緊
急的な事案に対しては、機を逸する
ことなく状況を見定め、令和3年度
同様、必要な対策を講じてまいりま
す。

一 施政方針文末より抜粋 一

行政サービスの維持及び向上を
進めるためには、行政改革も必要
であると認識しております。

社会全体のデジタル化が進展す
る中で、それに対応した職員の意
識・業務の改革を進めるため、デ
ジタル技術を活用した行政システ
ムを導入し、将来を見据えた効果
的・効率的な行財政運営に努めて
まいります。

時代の潮流や変化、本町を取巻
く課題を把握し、将来のまちづく
りの方向性と進むべき目標を示す第
3次南会津町総合振興計画」を令
和4年度に策定してまいります。

町民の皆さまにおかれましては、
引き続き町政運営について、一層
のご理解とご協力、ご支援を賜り
ますようお願い申し上げます。

第2次南会津町総合振興計画に掲げる
「5つの目標の柱」について紹介



目標の柱 3

誰もが健やかで安心して生活できる環境づくり

町民の生命と生活を第一に考え、医療・福祉サービスや防災対策を充実させることにより、住み慣れた地域で安全安心な暮らしを実現します。



6. 企業に活力を

雇用の場を確保

一定の投資と雇用を確保して町内に立地した企業に、企業立地奨励金や雇用奨励金を交付するほか、生産力の向上を目的とする製造事業者や通信事業者の設備投資を支援することで、安定した雇用機会を創出します。



3. 林産業の振興

「南会津町＝木の町」を確立

みなみあいづ森と木の情報・活動ステーション「きとね」が4月9日から供用開始となりました。当施設を拠点に、木材需要の拡大につながる情報発信、林業・林産業従事者の育成、木材関連製品の魅力発信に取り組みます。



目標の柱 2

就労対策・企業支援と戦略的な取り組みによる町民所得の向上

新型コロナウイルス感染症の拡大を受け、停滞する町内経済の景気回復を目指し、各産業間の連携強化と、雇用の確保に取り組みます。



3. 空間を再構築

人が集まる場所へ

旧伊南小学校利活用基本構想に基づき、伊南地域のシンボル「古町の大イチョウ」の保護や、地域活性化を目的とした、公園整備に着手します。令和4年度は、校舎および給食センターの解体に伴う実施設計を行います。



目標の柱 1

恵まれた自然環境と調和した生活空間の創造

先人たちが私たちに残してくれた豊かな自然を未来へと引き継ぐため、多様なニーズに対応できる持続可能な生活環境を整備します。



1. 手厚い福祉を

支え合い体制の構築

高齢の方や障がいのある方が安心して生活できるよう、訪問活動や配食サービス、除雪支援など、見守り体制の充実に取り組みほか、各行政区および行政が密接に連携し、健康寿命の延伸を目指します。



7. 賑わいを創出

中心市街地活性化

田島地域中心市街地の活性化に向け、前年度に引き続き賑わいを生むイベントなどの開催経費を支援するほか、上町区を重点区域とした「まちなか再生計画」を策定し、地域住民の協働によるまちづくりを具現化します。



4. 消費喚起の一手

プレミアム付き商品券を発行

新型コロナウイルスの感染拡大が長期化する中、低迷する地域経済を刺激し、消費行動を呼び起こすため、令和4年度も継続して地元の商店や飲食店などで使用できる「プレミアム付き商品券」の発行を支援します。



1. 強い農業を実現

農業生産基盤の充実

新規就農者や若い農業者への経済的支援に加え、経営発展を志す農業経営体の設備導入経費を支援します。また、地域農業をけん引する大規模農家の育成や、農業経営体の法人化などにも着手します。



4. 安全を足元から

社会資本の整備・強化

道路1路線(永田・中荒井線)の改良工事と、橋梁2路線(関本・古内線、大新田1号線)の建て替え工事を行うほか、橋梁長寿命化修繕計画に基づく橋梁各所の補修工事や点検を継続し、安全な交通インフラを整備します。



1. 崩落に歯止めを

尾瀬国立公園田代山の保全

度重なる大型台風の影響から、山腹斜面の崩落が拡大している田代山。林野庁関東森林管理局をはじめとする各関係機関との連携をより一層強固なものとし、崩落の防止・解消に向けた対策を強化します。



2. 不安解消に向けて

妊娠・出産へのケア

妊娠・出産と向き合える環境を整えるため、町保健師による訪問活動および産後ケア体制を提供します。また、ひとり親家庭や妊産婦の医療費、不妊治療費への助成を継続し、心身の不安・経済的不安を軽減します。



8. 八十里越を身近に

広域連携をスピードアップ

国道289号八十里越道路の開通に備え、三条市・只見町と足並みをそろえた情報発信を行います。また、地域住民を対象としたセミナーなどを開催することで、広域連携の場に積極的な参画を促す環境を整えます。



5. 経営の安定化

緊急経済対策の継続

新型コロナウイルス感染症の影響を受け、融資を受けた事業者に対する利子補給を行います。また、経営改善に向けた専門家の派遣経費を助成するなど、金融機関や商工会と連携した伴走型支援に取り組みます。



2. 点から面の対策へ

獣害対策の輪を広げる

有害鳥獣による農作物被害を食い止めるため、猟友会などと連携した個体数調整、集落と一体となった複合柵(電気・金網)の設置、里山林の整備を並行して行い、農業従事者の生産意欲とモチベーションを維持します。



5. 将来ビジョンを描く

魅力ある市街地を形成

会津縦貫南道路や国道289号田島バイパス、栃木西部・会津南道路といった基幹道路の整備を踏まえ、住みよい南会津町を目指し、公園や宅地の造成など、土地の利用価値を高める適切な区画整理を進めます。



2. 高山植物の保護

駒止湿原の調査・研究

野生動物による貴重な高山植物の食害、湿原の掘り起こしなど、国指定天然記念物の駒止湿原が直面する諸課題に対応するため、専門的な視点による現地調査を進め、湿原や周辺環境の保護の在り方について検討します。



3. 地域力の底上げ

集落応援交付金

各行政区によるコミュニティ機能の維持・強化や、相互扶助体制の確立を目的とした活動に対し、集落応援交付金を交付することにより、自主的かつ主体的な住民自治活動を応援し、集落を活性化させます。



目標の柱 5

町民と行政との協働による
まちづくりと未来を拓く行政経営

人口減少と高齢化の進展に伴い、地域の担い手が不足する現状に対処するため、町民と行政が手を取り合った意欲的なまちづくりを進めます。



3. 語学力の向上

英語が話せる人材育成

英語専科指導教員や外国語指導助手(ALT)との連携や、異文化体験学習の実践など、小学生から高校生まで各世代に応じた英語教育を提供することで、英語に対する関心を高め、コミュニケーション能力を育成します。



目標の柱 4

次世代の地域を担う
人材の育成

時代の変化にも柔軟に対応できる人材を育成するための教育環境を整備し、性別や年齢にとらわず個性や能力を発揮できるまちづくりを進めます。



6. 子どもの医療負担軽減

子どもの健康を守る

国・県の施策を拡充し、町独自に0歳から18歳まで、切れ目なく子ども医療費を無償化。歯科治療を含め、子どもの健康を側面から支え、突発的な発熱やケガによる医療費負担の不安解消を実現しています。



3. 子育て環境の充実

切れ目のないサポート

子育て世代包括支援センター「えがお」内に、子育て家庭総合支援拠点を新設。ワンストップの相談窓口を設け、お子さんの年齢や発達段階、家庭の状況を踏まえたアドバイス・保健指導・情報提供を行います。



4. 関係人口の創出

TBTの受入体制を構築

チームビルディングツールズ(TBT:企業向け研修旅行)の受け入れを視野に、町内事業者の参画により新たな関係人口の獲得を目指します。また、ふるさとサポーターの活動を通して人材の呼び込みを促進します。



1. 行財政の見直し

デジタル化への対応

社会全体のデジタル化を踏まえた職員の意識や業務の改革が求められます。経常経費削減の一環として、デジタル技術を活用した各種行政システムを導入するなど、効果的・効率的な行財政運営に努めます。



4. 短期交流の継続

山村留学の受け入れ

令和3年度に引き続き、町内小規模校と連携した「短期山村留学」を受け入れます。児童・生徒が、都会の子どもたちとの短期的な交流を積み重ねることにより、多様な視点や価値観に触れる機会を創出します。



1. デジタル化への対応

情報技術の基礎を習得

日常生活や教育現場での急速なデジタル化に対応できる人材を育成するため、情報技術の基礎を学ぶ研修会を開催するとともに、ITパスポート試験(国家試験)の受験手数料を対象とした補助制度を新設します。



7. 公共交通の再編

利用しやすい交通網へ

自家用車を持たない交通弱者にも対応した公共交通網を実現するため、デマンドタクシーを運行します。また、デマンド交通未整備区間での実証運行や、広域連携に基づく交通体系の確立にも取り組みます。



4. 保育環境の充実

子育て負担軽減

幼稚園・保育所に入所する3歳児以上の子どもの保育料を無償化するとともに、3人以上の子どもを持つ多子世帯の保育料を半額以下に軽減、さらに全ての入所児童の副食費を無償化します。



5. 新しい道筋を

第3次南会津町総合振興計画

第2次南会津町総合振興計画に掲げるまちづくりが最終年度を迎えます。時代の潮流や変化、本町を取り巻く課題を把握しながら、まちづくりの新たな方向性と目標を示す「第3次南会津町総合振興計画」を策定します。



2. 未来に意識を

SDGsへの理解促進

第2期南会津町まち・ひと・しごと創生総合戦略にも位置付けられる「SDGs(持続可能な開発目標)」への理解を深める場として、町の将来を担う中学生を対象としたワークショップを開催します。



5. 「からふる」な町へ

男女共同参画の推進

令和3年度策定の「からふるプラン(南会津町男女共同参画計画)」に基づき、地域内および家庭内での性別にとられない意識の醸成に努めるとともに、自分らしい生き方を選択できる社会の実現に取り組みます。



2. ICT教育を深化

GIGAスクールの運営支援

各町立学校のカリキュラムに合わせたICT教育を支援するため、GIGAスクール運営支援センター(ヘルプデスク)を設置します。タブレット端末の活用をサポートするほか、教職員を対象としたスキルアップ研修を開催します。



8. 接種体制の強化

ワクチンの早期供給

令和3年度に引き続き、町内医療機関と連携し、新型コロナワクチンの円滑な接種体制を構築します。個別接種と集団接種の両立や、集団接種会場への送迎など、接種希望者に対するワクチンの早期供給を実現します。



5. 学童保育の実施

子育てと仕事の両立

放課後の子どもの孤立を防ぎ、友達と過ごせる場所として7つの小学校ごとに放課後児童クラブを設置。学校の長期休暇期間も子どもを預かり、仕事と子育ての両立しやすい環境づくりに積極的に取り組みます。

